

緊急事態宣言発令中にもか
かわらず、コロナ禍が収まり
ません。ただ、昨年の国内の
死亡数は138万4544人
(速報値)で、前年より90
00人以上減りました。死亡
数は高齢化によって、年2万
人程度増えていましたから、
平年より3万人近く減少した
こととなります。

2月末時点で、米約50万
人、ロシア約35万人など、死
亡数が平年を上回る「超過死
亡」が生じた欧米とは対照的
な結果です。

11年ぶりに死亡数が減った
のは、マスク着用や手洗いな
どの新型コロナウイルス対策
で、コロナ以外の肺炎やイン
フルエンザによる死亡数が大
きく減少したためだと思いま

がん社会 を診る

中川 恵一



イラスト・中村 久美

明された形です。

一方、昨年の自殺者数(確
定値)はリーマン・ショック
後の09年以来、11年ぶりに増
加しました。コロナ禍で、経
済的な苦境や孤立に苦しむ人
が増えていたためか、若い世
代の自殺が増えています。

対照的にコロナで亡くなっ
た人の9割が70代以上で、死
亡年齢の平均は、男女とも日

国立がん研究センターによ
ると、2020年のがん死亡
数予測は約37万9千400人
で、2019年の約38万30
0人と比較すると、約900
人の減少とされていました。

がんによる死亡が増えてい
る大きな理由が、コロナを恐
れるあまりの検診や治療の
「自粛」だと思えます。

実際、東京大病院でも胃
がんをはじめとする手術件数
が、昨年は大きく落ち込みま
した。放射線治療の現場でも、
進行した状態で受診する患者
も増えています。

検診や受診の自粛は、進行
がんを増します。長期的には
死亡数の増加につながる大き
な問題です。

(東京大学特任教授)

検診の「自粛」、進行がん増やす

す。

心筋梗塞や脳梗塞などの
他、不慮の事故も減っていま
す。コロナによる死亡数は昨
年約3500人でしたが、コ
ロナ対策や在宅勤務などによ

る死亡数の減少幅の方が大き
かったこととなります。

他の感染症を激減させた一
連の対策も、コロナには十分
ではなかったわけですから、
このウイルスのしぶとさが証

本人の平均寿命にほぼ重なり
ます。

気になるのは、厚生労働省
から発表されている昨年10月
までのデータで、がんによる
死亡数が増えている点です。